資料１

第５回新しい美浜の学校教育検討委員会　議事録

日 時： 令和８年９月２４日（木） 19 時 00 分～21 時 00 分
場 所： 美浜町役場 2 階会議室

【出席委員】２１名

名古屋市立大学　特任教授	鈴木　賢一
兵庫教育大学　准教授	安藤　福光
ひまわりこども園 PTA　ひまわり会　会長	松永　健哉
松原小学校 PTA　共啓会　会長	平井　絢弥
松原小学校 PTA　共啓会　副会長	龍神　早奈恵
松洋中学校 PTA　松洋会　副会長	松下　哲也
松洋中学校 PTA　松洋会　副会長	永井　洋二
松原小学校　校長	福田　円
松原小学校　教頭	楠見　智弘
和田小学校　校長	立花　寿雅子
和田小学校　教頭	坂田　香織
松洋中学校　校長	吉村　元
松洋中学校　教頭	越本　明伸
松原小学校　学校運営協議会　会長	田端　正幸
松洋中学校　学校運営協議会　会長	塩﨑　清則
和田小学校　学校運営協議会　会長	片山　隆
区長会　副会長	久保　博巳
区長会　代表	村岡　茂
美浜町教育委員会　教育長職務代理	出口　和幸
美浜町役場　副町長	石塚　和夫
保護者代表	和田　亜貴

【欠席委員】８名
田端　克好（ひまわりこども園 PTA　ひまわり会　副会長）
田口　誠（こじか保育園 PTA　さくら会　代表）
津村　陽介（こじか保育園 PTA　さくら会　代表）
西　貴生（和田小学校 PTA　育友会　会長）
西野　豪倫（和田小学校 PTA　育友会　副会長）
田中　一民（区長会　会長）
井本　善也（区長会　代表）
津村　仁志（美浜町教育委員会　委員）

【事務局】
美浜町教育委員会　塩﨑教育長
美浜町教育委員会教育課　北村課長、伊藤指導主事（主幹）、徳田係長
㈱地域計画建築研究所（アルパック）　間瀬、清水、増見、城本

【配布資料】
・資料１ 第４回新しい美浜の学校教育検討委員会議事録
・資料２ 美浜町が目指す子ども像・基本理念（事務局案）
・資料３ 新しい美浜の学校づくり通信 Vol.04
・資料４ こどもワークショップ議事録

発言者	内　　容　（　口　述　）
1．開会	
事務局	・それでは、第５回新しい美浜の学校教育検討委員会を開会いたします。 ・本日はお忙しいところご出席いただき、誠にありがとうございます。 ・はじめに、美浜町教育委員会 教育長 塩崎より、ご挨拶申し上げます。
事務局（教育長）	・本日は、第４回新しい美浜の学校教育検討委員会を開催いたしましたところ、ご多用の中ご出席いただき、誠にありがとうございます。 ・さて、６月２９日の第４回検討委員会から、委員の皆様方にお集まりいただきますのは約３か月ぶりとなります。この間、事務局では、有識者の先生、アルパックとの打合せを行うとともに、後ほど報告させていただきますが、８月２４日にはこどもワークショップを開催し、「こんな学校にしたい」という未来の学校等について、子ども目線でアイデアを出し合うという取組を行っています。 ・ここで出されました内容は、小中一貫教育基本方針に反映させたいと考えています。本日は、この基本方針の策定に向け、前回に続きましてワークショップの形で皆様に協議していただくことがメインとなります。皆様方からのご意見を賜りたく思います。どうぞよろしくお願いいたします。
事務局	・それでは、まず議事に入らせていただく前に、本日、７名の委員より欠席のご連絡をいただいております。１名まだお見えでない方がいらっしゃるようですが、現在出席者が２１名でございますので、設置要綱第６条第２項に基づき、委員会が成立することをご報告させていただきます。 ・ここからの進行は、設置要綱第６条に基づき、委員長にお願いいたします。よろしくお願いします。
2．案件	
委員長	・本日も、先ほど説明がありましたように、皆様方からいろいろ意見を出していただいて、具体的な基本方針のところを詰めていきたいということですので、前回同様、活発なご議論をよろしくお願いいたします。 ・それでは、前回のワークショップの振り返りについて、事務局よりご報告をお願いいたします。
2-1　前回ワークショップの振り返りについて	
事務局	・前回、第４回検討委員会でのワークショップの振り返りについては、第４回の際にワークショップでファシリテーターを務めていただきました事務局（アルパック）の担当より報告させていただきたいと思います。よろしくお願いします。
事務局（アルパック）	・まず前回、第４回検討委員会で行ったワークショップについて、簡単に振り返ります。お手元の第４回新しい美浜の学校教育検討委員会議事録をご覧ください。１６ページ、１７ページ以降に前回の振り返りをまとめておりますので、こちらもご覧いただきながらお聞きください。 ・前回は、皆様にグループに分かれていただきまして、主に「目指す

	子ども像・基本理念」、つまり美浜町でどんな子どもを育てていきたいか、どんなふうに育ってほしいか、そしてそのためにこれからの学校教育で何を大切にしていくのか、といった視点で意見交換をしていただきました。 ・具体的には、どんな子どもで卒業してほしいか、これからの時代に必要な力、また小・中学校に求めること、小中一貫教育に期待することなどについて議論していただきました。 ・その中では、まず、「ふるさと美浜に誇りや愛着を持ってほしい」という意見がありました。「地域の祭りや自然、アメリカ村や煙樹ヶ浜といった美浜ならではのものを学び、地域とのつながりを大切にしてほしい」という意見もありました。また、「人の気持ちを考えられる優しさや思いやり、そして多様な考えを認める力、自分で考え、判断し、行動する力も大切だ」という意見も多くありました。 ・さらに、「夢や目標を持つこと」、「困難があっても努力すること」など、社会を生きていくための力についても様々なご意見をいただきました。学校教育については、「学力だけではなく、社会性や人との関わり、「生きる力」を育てること、そして今の学校の良いところを新しい学校にも継いでいきたい」という意見もありました。 ・このように、前回は皆様から本当に幅広い意見をいただきました。これらは、これからの美浜町の学校教育の方向性を考える上で非常に大切な材料であると受け止めています。本日は、前回いただいたご意見を事務局で整理しまして、美浜町が目指す子ども像と基本理念の案としてまとめています。
委員長	・ありがとうございました。前回のワークショップについて振り返りをしていただきましたけれども、このことについて何かご意見やご質問等はございますか。
出席委員	・（意見、質問等なし）
委員長	・本日またワークショップがありますので、なければ次に進ませていただきたいと思います。また最後に意見交換の時間を設けますので、その際にご意見がございましたらお願いいたします。 ・それでは、次に美浜町がめざす子ども像・基本理念（事務局案）について、事務局よりご報告をお願いいたします。
2-2　美浜町がめざす子ども像・基本理念（事務局案）	
事務局	・本日の資料２「美浜町が目指す子ども像・基本理念（事務局案)」をご覧ください。先ほど事務局（アルパック）の担当より１番で振り返りをしていただいたところと重複しますが、前回の皆さんのご意見を取りまとめ、この１ページ目の事務局案を作成しています。それにあたって、前回の検討委員会でいただいたご意見を２ページ、３ページ、４ページ、５ページと抜粋して整理しています。これらを基に、１ページ目の事務局案を作成しています。 ・まず、目指す子ども像について、「ふるさと美浜を想い、自ら考え、人とつながり、未来を切り拓く子ども」というところで、１番「ふるさとを想い、地域に誇りをもつ子ども」、２番「自ら学び、考え、挑戦する子ども」、３番「思いやりをもち、多様な人と協働できる子ども」、４番「たくましく未来を生き抜く子ども」としています。 ・続いて、基本理念です。「９年間の連続した学びを通して、一人一人

	の可能性を伸ばし、『生きる力』を育む」としています。 ・基本理念の内容として、１番「郷土を学び、ふるさとを想う心を育む教育を推進します」、２番「９年間を見通した系統的な学びを実現します」、３番「主体的に学び、未来を切り拓く力を育みます」、４番「豊かな人間性と協働する力を育みます」、５番「学校と地域が学び合い、つながる教育を推進します」としています。 ・以上が事務局案の取りまとめです。資料２の最後、６ページの一番下に、前回いただいた主なご意見、それを「育てたい力」としてまとめたもの、先ほど申し上げました目指す子ども像と基本理念とのつながり、関係性を示しています。
委員長	・ご説明いただいた案について、何か修正や、「こういう内容も入れたらどうか」といったご意見がございましたら、今回はあくまでたたき台としての事務局案ですので、ご意見をいただければと思います。いかがでしょうか。 ・本日のワークショップでいただいたご意見等も、ここに反映させていただくことになるかと思います。
出席委員	・（意見、質問等なし）
委員長	・ご意見等ないようでしたら、それでは次に、こどもワークショップの結果報告について、事務局よりご報告をお願いいたします。
2-3　こども WS の結果報告	
事務局	・本件につきましては、先ほど同様、事務局（アルパック）の担当より説明させていただきたいと思います。よろしくお願いします。
事務局（アルパック）	・資料３をもとにご報告します。まず１ページ目、概要です。８月２４日に、町内の小学生から中学３年生を対象として、１２名の方に参加いただき、ワークショップを実施しました。 ・ワークショップでは、まず、それぞれの学校のいいところ、思い出を振り返って、今の学校で残したいことについて考えてもらいました。その後、「こんな学校にしたい」という未来の学校についても、自由にアイデアを出してもらいました。 ・続いて、中面２・３ページをご覧ください。当日の意見の一部を掲載しております。今の学校で残したいものとしては、１年生と６年生が手をつないで入場する入学式や、フレンドリータイム、全校ダンスなどが挙げられました。 ・また、未来の学校でやってみたいこととしては、夏にみんなで花火をしたいや、クリスマス会で普段あまり関わらない人と仲良くなりたい、修学旅行の行き先を自分たちで決めたい、こども祭りで自分のお店を開いて、さまざまな学年の人と一緒に楽しみたい、といった意見が出ました。 ・ワークショップ全体を通して、今ある行事や伝統を残したいという意見や、みんなで交流すること、自分たちで考えて活動することなどについて、子どもならではの自由なアイデアが出ました。 ・こうした子どもたちの意見を参考にしながら、この後のテーブルワークで、地域や大人の視点から、今ある学校や地域の中で大切にしたいものを取り上げて、子どもたちの心に残る経験を地域でどうつくっていくかについて、皆さんに考えていただきたいと思います。ワークショップの説明は以上になります。

事務局	・ありがとうございます。当日のグラフィックレコードを奥側の壁に貼らせていただいていますので、まだ見られていない方は、お時間のある際にご覧ください。 ・こどもワークショップについて、子どもならではの、大人とは全く違った目線からの意見があった一方で、大人が「こう思ってほしいな」「こう考えてほしいな」と思ってこれまでやってきたことを、子どもたちも分かってくれているかと思います。１年生と６年生の交流であったり、全校ダンスを自分たちも伝統として認識しているんだなということも分かりました。
委員長	・ありがとうございます。 ・ただいまの説明について、ご質問等ありますでしょうか。
出席委員	・（意見、質問等なし）
委員長	・ご質問等がなければ、次の検討内容に進みたいと思います。それでは、事務局から説明をお願いします。
2-4　検討内容	
１）意見交換（グループワーク）	
事務局	・本日は、それぞれのテーブルで「子どもたちの心に残る“美浜の学校”を、地域と一緒にどうつくるか」について議論していただきたいと考えています。ここからの説明と進行については、先ほど同様、事務局（アルパック）の担当より説明・進行させていただきたいと思います。
事務局（アルパック）	・それではグループワークについて説明させていただきます。 ・次第の裏側にグループワークの進め方がございますので、こちらをご覧ください。本日議論いただくテーマは、「子どもたちの心に残る“美浜の学校”を、地域と一緒にどうつくるか」です。 ・こどもワークショップでは、今の学校での楽しい行事やイベント、新しい学校に引き継ぎたい行事やイベント等についてご意見をいただきましたが、「こんな施設があるとよいな」「こんなイベントがしたいな」といったことに比べて、今の行事・イベントや文化についての意見が比較的少なかったように見受けられました。 ・そこで今回の委員会では、地域や大人の視点から、今の学校や地域の中でこれからも大切にしていきたいものは何かを改めて考えていただくとともに、子どもたちが将来振り返った時に「美浜の学校で過ごしてよかったな」と思えるような行事や経験を、地域の人とどうつくっていくかを議論していきたいと考えています。 ・議論の流れは３つのステップです。①残したいもの、今の学校や地域にある行事・活動・文化の中で新しい学校にも残していきたいものは何か。②新しくつくりたいもの、子どもたちが大人になっても覚えているような経験を新しくつくるとしたら何ができるか。③地域と学校が連携しながら、①②の行事や文化をどうつくっていくか、という点を考えていただきます。 ・本日は、できる・できないという判断は早い段階では行わず、自由に意見を出していただければと思います。よろしくお願いいたします。各テーブルに１名ずつファシリテーターが入って進行させていただきます。
委員長	・特に「残したいもの」は、美浜で生まれて育った方は、ぜひ出して

	ください。昔からこの地で育ってきて、学校で学んで、「これは良かった」というものは恥ずかしがらずに出してください。「古いかもしれない」ということは気にしなくて結構です。今回はアイデア出しですので、様々なご意見を出していただきたいと思います。
出席委員	・意見交換（グループワーク）
２）本日の意見の共有	
事務局（アルパック）	・それでは、共有の時間にしたいと思います。各班でどのような意見が出たのか、順番に発表していただきたいと思います。
委員Ａ （１班代表）	・私たちの班では、まず残したいものとして、煙樹ヶ浜、松林ですね。県立自然公園でもありますし、美浜町の特徴的なところなので、これはぜひ残していきたいという意見が出ました。それから地域のお祭り、文化祭、こども祭りといったものも残していきたいという意見がありました。 ・新しくつくりたいものでは、学年に応じて西山など地域の歴史を学ぶこと、地域の方に歴史を説明してもらうこと、町全体での運動会、町内探検などが出ました。松原の子が和田のことを、和田の子が松原のことを知るような機会があってもよいのではないかという意見がありました。松林を使ったウォークラリー、キャンプ、マラソンなどの意見も出ました。 ・地域と一緒にというところでは、お年寄りの方とグラウンドゴルフなどのスポーツを一緒にするや、学校へ来てもらって昔の話や地域の歴史を聞くや、田植え・稲刈り、農業体験、漁業体験などの意見が出ました。 ・ただ、学校は年間のスケジュールがかなり詰まっているので、こういうことをするのであれば、年間計画の中でしっかり位置付けていかないと難しいという意見もありました。また、先生方は異動がありますので、地域の協力者とのつながりが先生の異動で途切れないように、次の先生に引き継いでいくような仕組みが必要ではないかという意見が出ました。
委員Ｂ （２班代表）	・残したいものとしては、松洋中学校の応援歌、松原小学校の全校ダンス、入学式で６年生が１年生と手をつないで入場すること、お別れ遠足、ふるさと学習、職業体験、田植えなどの自然体験、地域の祭りなどの意見が出ました。 ・応援歌とか全校ダンスというのは、卒業して何年たっても曲が流れたら体が動くや、みんなが知っている共通の思い出になるので、そういうものは残していきたいという意見でまとまりました。 ・また、学校の建物そのものも思い出なので、統合したからすぐ壊すということではなくて、何か別の用途でも使えたらよいのではないかという意見がありました。 ・新しい学校では、みんなで食べられる食堂のような場所、小学生・中学生や先生も一緒に交流できる場所があるとよいという話、それから図書館についても、デジタルだけではなくて紙の本をしっかり置いてほしいという意見が出ました。 ・地域との関わりでは、昔あった町民運動会のようなもの、町全体での夏祭り、それから昔の学校の写真を学校に置いて、卒業生の方に昔の話を聞くような場があるとよいという案が出ました。以上です。

委員Ｃ （３班代表）	・どの班からもいっぱい意見が出たので、重複する意見もありますが、残したいものとしては、運動会というのが一番多かったです。松原小学校では全校ダンスというものが毎年あって、５０年以上続くものなので、これからも残していきたいという意見が出ました。 ・そのほかにも、修学旅行、音楽会、異学年で一緒に活動すること、煙樹ヶ浜や松林の清掃活動なども、これから残していきたいという意見が出ました。 ・美浜町といえば煙樹ヶ浜やアメリカ村など、美浜町のいいところをいろいろ学習して、自分たちの住んでいるところについて学ぶことも残していきたいという意見がたくさん出ていました。 ・それから、美浜町の祭り。さまざまな考えがあると思いますが、祭りというものは文化的なものなので、子どもたちが祭りに関われるような場を、学校としても盛り上げていく場面があればよいのではないかという意見がありました。 ・田植えとか稲刈りという体験も、美浜町ならではの活動だと思います。他の小学校ではなかなか体験できないことも、美浜町の子どもたちは本当の田んぼで田植えをして、稲刈りをするという体験ができます。これは非常に貴重な経験ですので、ぜひ残していただきたいと思います。 ・また、津波の避難訓練も毎年やっていると思うんですけれども、これは町を挙げて、もう少し全体でやっていけたらなという意見がありました。 ・新しくつくりたいものとしては、文化祭や、お誕生日会、クリスマス会、ハロウィンや、大人になっても心に残るようなイベントがあれば、子どもたちも楽しく過ごすことができるのではないかという意見が出ました。 ・それから、子どもたちが考えて企画する、主体性というところですね。子どもたちが楽しんで、自分たちで考えてやっていくことも取り入れていきたいという意見が出ています。 ・美浜町は退職した学校の先生も多いということで、退職した先生方に学習やボランティアなどで関わってもらえないかという意見も出ました。以上です。
事務局（アルパック）	・ありがとうございました。本日のワークショップでは、「子どもたちの心に残る美浜の学校を地域と一緒にどうつくるか」をテーマに、３つのテーブルに分かれて議論していただき、多くのご意見をいただきました。特に、今あるものや、これからも継承していきたいものについて、多くのご意見が出されたことが印象的でした。これらは、子どもワークショップではなかなか出てこなかった視点でもあり、地域の皆さまが大切にしているものや、子どもたちに経験してほしいことなど、様々な思いを感じることができました。 ・本日は、学校行事などを題材に、美浜の学校で子どもたちにどのような経験をしてほしいかという視点を中心に議論していただきました。今後は、本日いただいたご意見を踏まえ、目指す子ども像や教育の基本理念にもそのエッセンスを取り入れながら、美浜町ならではの教育基本方針としてまとめていきたいと考えています。今後ともよろしくお願いいたします。

３）有識者のコメント	
鈴木委員	・皆様、お疲れ様でした。本日は、テーマを設定していただいたことで、美浜町に関する多くのご意見が出され、私自身も印象に残るお話がいくつもありました。特に、地域の皆さんが子どもたちのことを真剣に考え、話し合っている姿を、子どもたちにも見せたいと感じました。 ・私自身、まだ美浜町のことを十分に知っているわけではありませんが、本日の議論を通じて多くのヒントをいただきました。特に、「この地域でしかできないこと」「ここだからこそできること」を大切にすることが、教育の根幹として非常に重要だと感じました。 ・例えば、AI のような技術は世界中の誰もが利用できるものですが、田植えや稲刈り、地域のお祭りなどは、この地域だからこそ体験できる大切な財産です。もちろん、AI などの新しい技術も取り入れていく必要がありますが、一方で、こうした地域ならではの実体験や財産を生かす場、拠点として、学校が役割を果たしていくことが重要だと感じました。 ・また、子どもの数が減少していく中で、子どもたちだけの学校ではなく、地域の皆さんと一緒につくる学校が望ましいと考えています。先生方による教科学習だけでなく、地域の皆さんが日常的に学校に出入りし、子どもたちの学びや成長に関わるような学校づくりができればと思います。本日お集まりの皆さんであれば、そのような学校づくりを実現できるのではないかと感じました。ありがとうございました。
安藤委員長	・皆様からいただいたご意見について、私なりの見解をいくつかお話しします。 ・まず、本日の議論に先立ち、皆様の思い出や大切にしてきたものを出していただきたいとお伝えしたのは、「一度失われたものは、なかなか元には戻らない」ということがあるためです。例えば、全校ダンスがなくなってしまうと、それを復活させることは容易ではありません。これまで続いてきたのは、そのノウハウを持つ人がいて、継承されてきたからこそだと思います。そのため、まずは皆様の思いをしっかりと出していただくことが大切だと考えました。 ・本日は、皆様から多くのご意見をいただきましたが、こうした地域の大切なものを今後どのように残し、継承していくかが重要だと感じています。 ・例えば、松林や煙樹ヶ浜に関するお話がありましたが、以前訪問した山口県の中学校では、地域と連携して浜辺の清掃活動を継続している事例や、地域の産業を学校のカリキュラムに取り入れている事例がありました。また、子どもたちが探究学習を通じて町の将来について考え、提案したことを、地域の大人たちがワークショップで実現に向けて検討し、実際の取組につなげている事例もあります。 ・これらに共通しているのは、学校だけに任せるのではなく、地域の大人たちも学校教育に主体的に関わっているという点です。今後、美浜町では学校の統合と小中一貫教育の導入が進められますが、学校の先生方だけに任せるのではなく、地域の皆様が継続的に学校教育に関わることのできる仕組みを、併せて考えていく必要があると

	思います。以前、ある校長先生から「教員は異動する」というお話を伺いました。教員は必ずしも地域の住民ではないため、地域の皆様が積極的に学校教育に関わり、地域ならではの学びを支えていくことが、これまで以上に重要になると考えています。 ・また、学校の統廃合に際して、統合前の学校の歴史や思い出を残すためのスペースを設けている事例もあります。例えば、思い出深い校舎の一部を残し、これまでの学校の歴史や資料を蓄積する資料館のような場所として活用することも、一つの方法だと思います。 ・本日のように、皆様から様々な思いや意見を出していただくことで、「こうすれば残せるのではないか」「こうすれば実現できるのではないか」といった具体的なアイデアにつながっていきます。その意味でも、本日の議論は、今後の学校づくりを考える上で、非常に有意義な機会になったと感じています。 ・次回以降はグループ形式での議論ではないかもしれませんが、本日のように活発に意見が交わされる雰囲気を大切にしながら、引き続き、皆様が率直に意見を出し合える検討委員会にしていければと思います。本日は多くの貴重なお話を伺うことができました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました
委員長	・それでは、ただいまのご意見についてご質問ございますか。皆さんたくさん意見交換され、多くの意見を出していただきましたが、さらに何かあれば、ぜひお願いいたします。 ・全体を通してでも構いません。前回の振り返りや、基本方針、基本理念についてもご説明いただきました。皆さん方のグループワークを通して、「基本理念にこういったことを次の回に考えてほしい」というご要望等がありましたら、後からでも教育委員会の方に、メールでも電話でも、何かあればお寄せいただければと思います。
出席委員	・（意見、質問等なし）
委員長	・それでは、ご意見等ないようですので、次に進みたいと思います。 ・その他（今後のスケジュール）について、事務局よりお願いします。
5　その他（今後のスケジュール）	
事務局	・今後のスケジュールについて、次回の第６回検討委員会は、11 月 10 日（火）の午後７時から午後９時までを予定しています。 ・次回は、本日お示しした「目指す子ども像」や「基本理念」を含め、教育基本方針全体の原案を提示する予定です。原案は事前に配布し、委員の皆様からご意見を伺いたいと考えています。 ・また、本日の検討委員会での議論や、お示しした「目指す子ども像」「基本理念」について、お気づきの点などがありましたら、電話やメールでも構いませんので、事務局までお寄せいただければと思います。事務局からは以上です。
委員長	・ただいま事務局から今後のスケジュールが出ましたが、何かご質問はございますか。
出席委員	・（意見、質問等なし）
委員長	・それでは、皆さん、長時間、熱量のあるご議論をありがとうございました。以上をもちまして、本日の委員会を終了いたします。また次回もどうぞよろしくお願いいたします。
3. 閉会	

	以上

【各テーブルの意見】

●テーブル A

テーマ：残したいもの（継承）	
分類	意見
松林	・煙樹ケ浜の松林と浜 ・3 神社のそれぞれの秋祭り ・アメリカ村とカナダの関係 ・松林のそうじ、秋みつけ、日本一防災 ・緑（松） ・松葉集め（清掃活動）
祭り・地域行事	・祭り ・現在地域行事にどの様に参加しているか？ ・各地域の祭り、地域の人々との交流、各単年別に対応する ・地域の文化である祭りへのかかわり、地域の歴史
文化祭・子ども祭り	・文化祭の様なイベント ・児童会行事 ・みんな遊び（企画）1 回/学期 ・子どもまつり
地域との交流会	・大きな遊具（松小） ・たてわり活動 ・高齢者との交流会 ・現在町内の施設とどの様に交流しているか？また、各校の交流の歴史について、例えば特養訪問、招待等
防災	・防災意識 ・防災訓練（特に地震、津波）
スポーツ	・保護者参加のスポーツ（ビーチバレー大会とか)、児童も応援して盛り上がる ・水泳の授業 ・運動会運営+プログラムについて ・ジャンボプログラム ・運動会 ・各地区の歴史と伝説 ・小学校 2 校の歴史 ・松原小学校運動会での全校ダンス
移民・文化・アメリカ村	・三尾地区、移民文化+入山城について
その他	・学習内容の整理、体系別、学年別に整理して職員の異動に関係なく継続することが大切 ・計画作成、取捨選択 ・いろんな人が来れる学校、敷居を低く ・学校の歴史 VS 町の産業、文化 ・町内唯一の学校になるので各地区の継承が必要

テーマ：新しくつくりたいもの（創造）	
分類	意見
歴史を知る	・地域を知ること ・地形（西山頂上から煙樹ケ浜全景を見る、日ノ岬から太平洋を見る等学年に応じて） ・歴史、三尾、和田、松原のそれぞれの歴史 ・神社、移民、祭り、高齢者に聞いてみる
学校行事の町民参加	・昔は遠足で登っていた ・町内探検、三尾、西山、入山城、磯 ・学校行事→町行事（町民が集まれる） ・遠足、各所の選定、公園は×
行事の復活	・町民、体育大会（運動会）、今は消滅、今はない ・今は無くなった盆踊り、今はない
松林での活動	・煙樹ケ浜、松林を活用したイベント？ ・松林の中でウォークラリー！ ・煙樹ケ浜マラソン大会 ・松林の中でキャンプ！
文化祭	・文化祭 ・先生も生徒も保護者、地域の人達みんなで文化祭 ・ハロウィン集会 ・地域の人もまきこんでの文化祭

テーマ：地域とどうつくるか（地域連携）	
分類	意見
地域でスポーツ取組	・地域で盛んな活動、例えばグランドゴルフ、やスポーツクラブ等との交流、体験活動への参加 ・学校へ出前してくれるような団体との交流活動 ・毎年が大変なら隔年でも良いと思う ・子どもも地域の人達もたくさん集まる場でのスポーツ体験の場 ・サッカー、野球、バスケ、筋トレ、エクササイズ、ヨガなど
農業・漁業	・農業（稲刈り）、漁業体験学習 ・海とのかかわり、将来は関わり
老人	・老人ホームとの交流 ・交流
クラブ地域移行	・クラブ活動の地域移行 ・商工会青年部
地域を語る	・地域の歴史的有名人の話を聞く（久野儀兵衛、椎崎二郎中佐等） ・地域の歴史を語って頂く ・語り部
文化祭	・校外学習（行事）の見守り ・文化祭での出店

	・キャンプと防災訓練を Mix ・火起こしの仕方、テントの張り方、電気なしの生活など ・文化祭で地域の祭りをプチ開催 ・学校と地域団体をコーディネートする（コーディネート役必要） ・学校運営協議会への参加
地域の歴史	・三尾の歴史、移民、アメリカ村 ・和田祭（和田）、吉原祭（松原）、御坊祭（日高）、地域の文化 ・地域の歴史、入山城

●テーブル B

テーマ：残したいもの（継承）	
分類	意見
学校行事	・お別れ遠足 ・中学校松洋祭 ・入学式（6 年生が新入生の手をつなぐ） ・運動会（全校ダンス） ・全校ダンス、親子、町民、卒業生、みんなで ・応援歌、「ああ松洋の血」 ・入学式、卒業式の吹奏楽の演奏 ・ふるさと学習（地域の施設、店等の社会見学） ・職業体験
自然・歴史等を活かした取組	・松林にかこまれた環境 ・田植え ・祭礼、地域の連携にもつながる
その他	・校舎は取り壊ししない（違う形でも利用） ・松洋、和田、松原の学校名を残す ・学校の名前を残す ・町営プールの復活（屋内プール）

テーマ：新しくつくりたいもの（創造）	
分類	意見
新しい祭り	・文化祭（模擬店など）※今は音楽祭のみ ・松小はこども祭
食堂（交流スペース）	・食堂、皆で集まって食べられる空間 ・ランチルーム
新しい施設	・広い図書室 ・雨でも遊べる場所 ・多目的ホール（交流） ・広い図書館 ・1 人になれるスペース ・昼食を自分たちで作る日 ・自由になれる空間
その他	・ハロウィン ・修学旅行 ・行き先、小学校：近畿、神戸、中学校：関東、九州

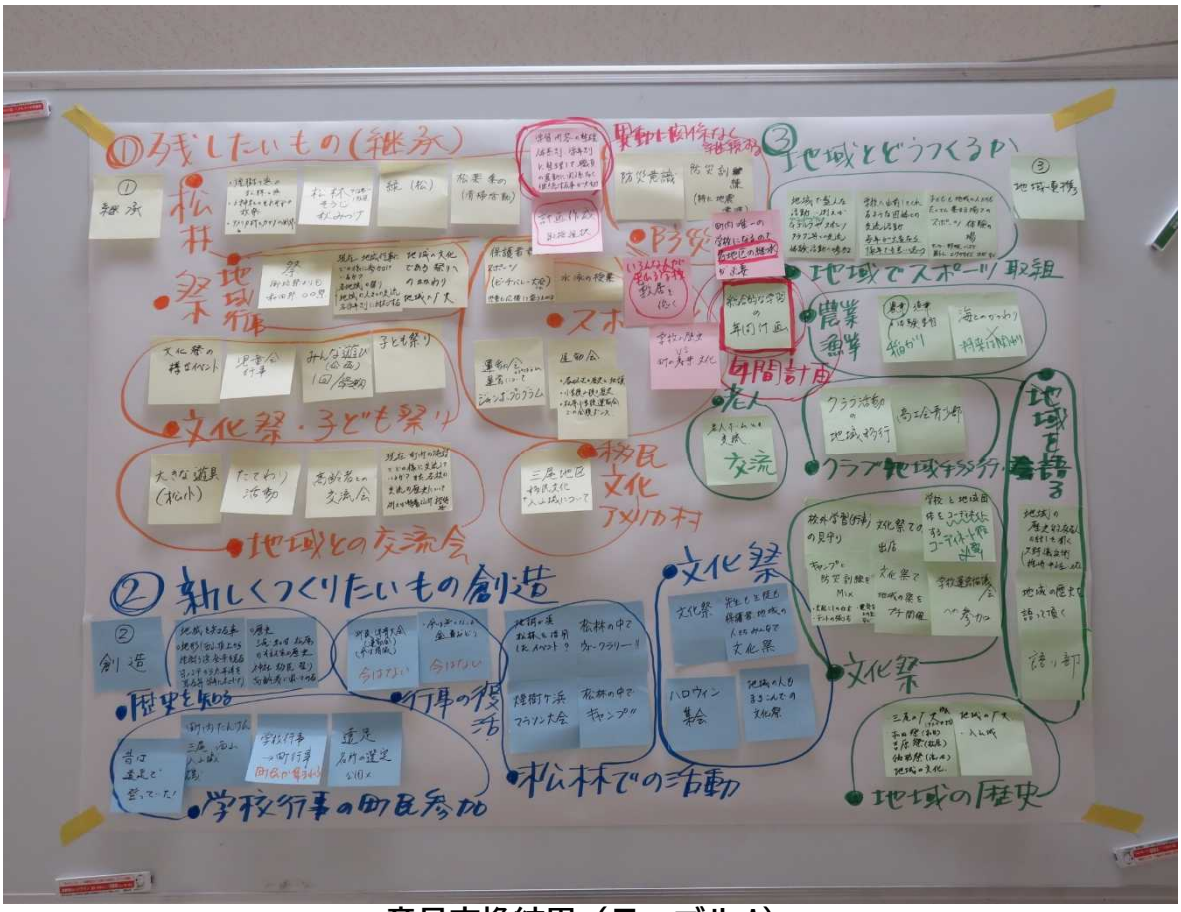
テーマ：地域とどうつくるか（地域連携）	
分類	意見
町民が関わる （参加する）	・夏祭り、町民全員参加？ ・町民運動会
町民に聞く・相談する	・ようこそ先輩（卒業生からお話を聞く） ・古い写真等を校内に飾る
その他	・防災 ・町全体で出来ると良いが難しい ・学校の中に地域の歴史を残す（写真、道具、記念品等） ・出前授業（職業）

●テーブル C

テーマ：残したいもの（継承）	
分類	意見
行事・イベント	・運動会 ・松原小学校の全校ダンス、美しき行進（町民みんな躍れる？） ・運動会、遠足、修学旅行 ・修学旅行 ・遠足 ・音楽会 ・清掃活動 ・たて割班活動
資源・歴史	・アメリカ村について ・楠木（和田小） ・煙樹ケ浜の景観を残したい、学校も松林の中にあることから ・松葉拾いなどをやっている ・松林保全活動 ・煙樹ケ浜でのたこあげ（自作） ・郷土芸能（祭り）に参加すること、好き嫌いにかかわらず ・星空観察
部活動	・駅伝部 ・バレー部 ・野球部
その他	・防災学習、地震、津波、避難訓練 （地域全体でやっている） ・お米作り（現場でするのは貴重！、記憶に残る）

テーマ：新しくつくりたいもの（創造）	
分類	意見
行事・イベント	・親子も一緒に参加、文化祭 ・お誕生日会、クリスマス会、ハロウィン（クラス単位でやっている） ・斬新な修学旅行（毎年違う） ・沖縄？ ・奈良の大仏の鼻の中に入れる体験は記憶に残っている
主体性	・子どもが考え、企画するこども祭り ・子ども主体の楽しめるもの
その他	・学習塾、ボランティア

テーマ：地域とどうつくるか（地域連携）	
分類	意見
地域の人材・ 団体との連携	・スポーツの指導者 ・地域の方々に教えに来てもらう（稲刈り、けん玉など） ・退職した先生の協力 ・地域の方の団体（老人会）、交流、グランドゴルフ、昔の遊び
地域の自然・ 産業を生かした体験	・田植え、稲刈り行事、農家の人との交流とあわせ、食の大切さを学ぶ ・松林の松葉で作った堆肥を使用して野菜などを育てる ・特産（キュウリ）、ハウス栽培
地域の文化・ 行事との連携	・毎月 11 月に開催する文化協会が主催する文化祭は、小中学生の作品も多く展示される ・祭について教わる
地域住民が参加しやすい 仕組み	・子どもたちが行く！地域の方に学校に来てもらう ・個人だと来にくい？、フランクに？ ・地域の方に来てもらうには？ ・どんな行事にしろ地域の人に来てもらう手立てを作らなければ、作戦はいかに



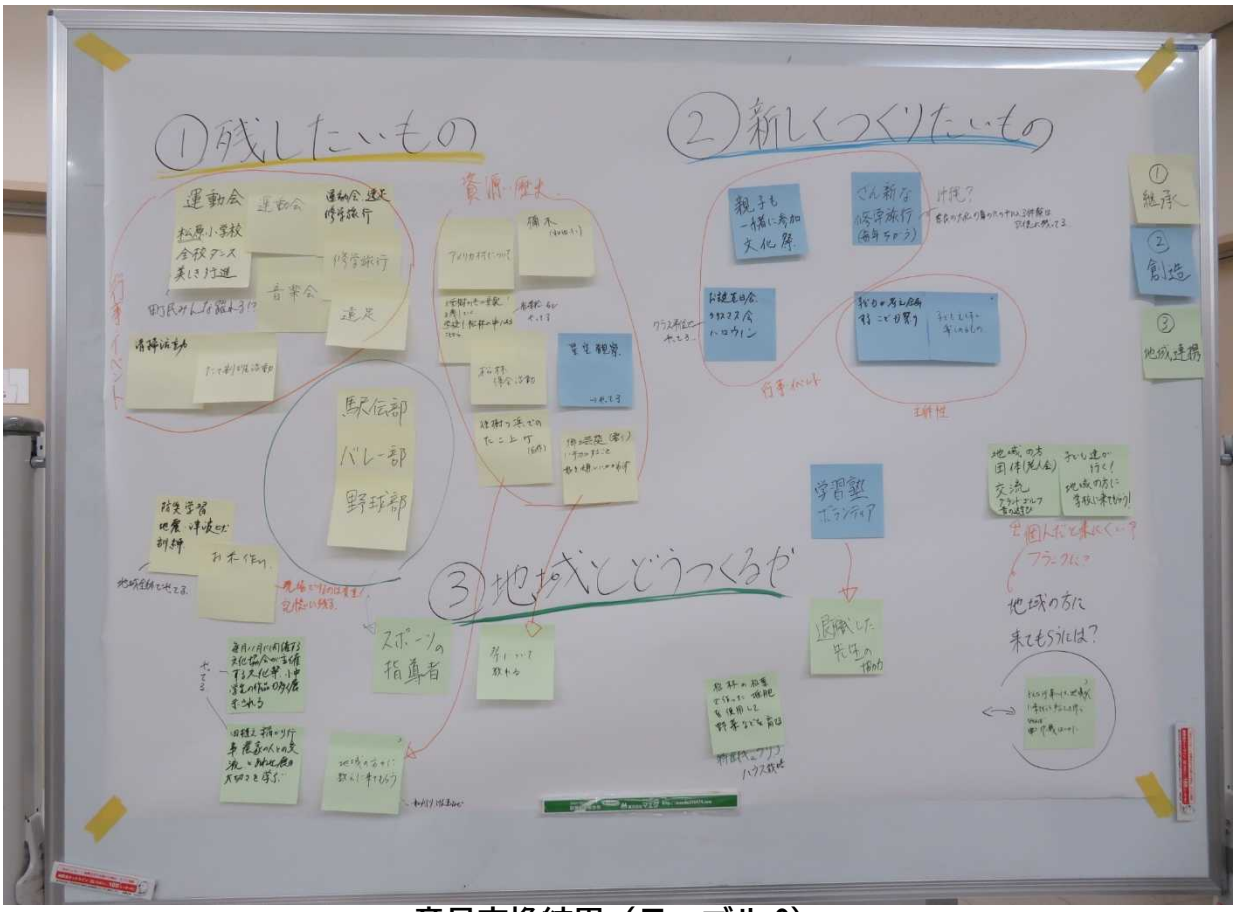
意見交換結果（テーブル A）



意見交換結果（テーブル B）

※3つの視点(継承・創造・地域連携)に沿って意見交換を行い、それぞれの視点で出された意見を区別できるよう、異なる色の付箋を使用しています

① 継承	② 創造	③ 地域連携



意見交換結果（テーブル(）

※3つの視点(継承・創造・地域連携)に沿って意見交換を行い、それぞれの視点で出された意見を区別できるよう、異なる色の付箋を使用しています	①継承 / ②創造 / ③地域連携